

福島区のまちづくりと都構想を 考えるつどい

—福島区地域自治体学校—

福島区では、子育て、学校選択制、医療や介護、防災に強いまちづくり、産業振興など多くの課題があります。

いま、橋下大阪市長は、大阪市を解体し、福島区をなくし、大阪市内を5つか7つの特別区をつくる。そして、大阪府も解体して大阪都をつろうとしています。

この大阪都構想では、大阪市税は、すべて大阪都が吸い上げ、まちづくりの権限は大阪都に集中し、特別区に配分されるお金は大きく減らされ、福祉や教育、地域活動への悪影響が危惧されています。

福島区が解決すべき課題はなにか、大阪都構想で福島区民の暮らしはどうなるのか、福祉と自治を守る地域での共同をどうすすめるのか、ぜひご参加いただき、ともに考えましょう。

自治体学校とは：
「みんなが生徒、みんなが先生」をモットーに、住
民、研究者、公務労働者
がともに住み良い地域づ
くり、自治のあり方を考え、
学び合う場＝学校です。

と き：2014年2月22日(土)午後2時～5時

ところ：福島区民センター3階会議室

参加費：500円(資料代)

内容：第Ⅰ部—記念講演

『大阪都構想で、福島の地域や暮らしはどうなる』

講師：中山 徹 奈良女子大学教授

第Ⅱ部—住民交流の広場

福島区での子育てや学校選択制や医療・介護・福祉などの暮らしのことから、防災や交通問題やコミュニティの問題など地域づくりの課題などをみんなで考え、情報交流する場です。

大阪市を廃市し、
北・中央分離案



主
催

福島区地域自治体学校実行委員会(実行委員長=小濱讓次・福島医療生協理事長)
一般社団法人 大阪自治体問題研究所<連絡先:06-6354-7220>